

下榎交流センターだより

編集 日野町下榎交流センター
〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX兼)
E-mail：rinpoka@town.tottori-hino.lg.jp

人権ってなんだろう

人権とは、すべての人が生まれながらに持っている「人間らしく生きるための大切な権利」です。私たちは、お互いの立場や気持ちを思いやり、自分の人権だけでなく周りの人の権利も大切にしていけることが大切です。一人ひとりが人権について関心を持ち、日常生活の中で意識することが安心して暮らせる社会づくりにつながります。

＝世界人権宣言（人権に関する世界宣言）＝

第1条 すべての人は、生まれながらにして自由であり、尊厳と権利について平等です。また、人は理性と良心を持ち、お互いに思いやりの心をもって、行動することが求められています。

この「世界人権宣言」は、1948年12月10日にフランス・パリで開かれた国連総会において「すべての人と国が守るべき共通の基準」として採択されました。すべての人が、基本的な人権を持ち、それをどこでも、いつでも、大切にされる社会を目指すための大切な指針です。

しかし、現在でも世界のさまざまな地域で争いや、差別などにより、人権が守られていない現状があります。私たちはこうした問題に目を向け、何が起きているのかを知ることが大切です。

まずは、身近な人を思いやることから始めてみましょう。一人ひとりの行動が、誰もが安心して暮らせる社会につながっていきます。

◆6月の行事予定◆

- | | | |
|---------|-----------------|-----------------|
| ・書道教室 | 6月6日(土) 13:00～ | 習字道具 |
| ・クラフト教室 | 6月19日(金) 13:00～ | クラフトテープ |
| ・生け花教室 | 6月20日(土) 13:30～ | 花材代(1,430円) |
| ・創作教室 | 6月23日(火) 13:00～ | 材料代(作品により異なります) |

《準備するもの》

【問合せ先】下榎交流センター 中原 (電話 72-1191)

「令和8年度 部落解放・人権尊重標語」の募集について

人権尊重の意識高揚を目的として、町内の児童・生徒・町民の皆さんから「部落解放・人権尊重標語」を募集します。

一人一人が大切にされ、誰もが希望を抱いて心豊かに暮らしていける地域づくりを目指して、人権を守るために出来ること、感じていることなどを標語にしてみませんか？皆さんのご応募お待ちしております。

★募集締切：6月10日(水)

★作品提出先：下榎交流センター・教育委員会・町公民館

応募用紙の指定はありません。作品に住所と名前をご記入ください。入選作品は、広報ひの7月号に掲載するとともに、短冊・ポスターにして町内の施設・事業所に掲示し啓発に活用します。

なお、入選者には賞状と記念品を贈ります。ふるってご応募ください。





日野高 NEWS

日野郡唯一の高等学校である日野高校。日野高生ってどんな活動してるの？地域とのつながりを大切にしている日野高生の姿を、日野町の皆さんにお届けします！



4/9
(木)

感謝とともに、未来へ羽ばたく 令和7年度入学式

穏やかな春の日に、今年度の入学式が挙行されました。45名の新入生のみなさん、ようこそ日野高校へ！

今村校長は式辞で、「人生は「判断の連続」、誰かのため、自分のために大切と思える判断をしてほしい」と話しました。

新入生を代表して、森田惟月さんが堂々と宣誓しました。新入生の皆さん、充実した高校生活を送ってください。



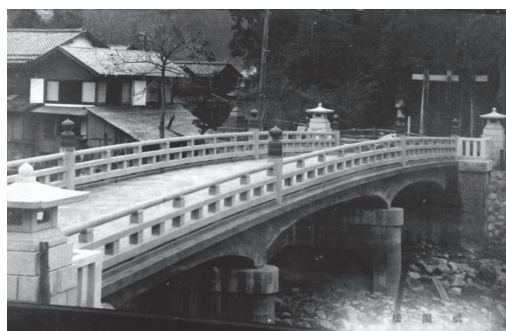
日野町

歴史の窓

第13回 「祇園通り物語」

文：町教育委員会事務局

祇園橋は、スサノオノミコトを祭り、「ぎおんさん」の愛称で親しまれている根雨神社の参道にかかる橋です。出雲から神様を招き、のちに牛頭天王と称された神社です。幕末の古地図には橋が記載していないので、参拝者は板井原川の浅瀬を徒歩で渡ったのかもしれない。のち簡単な板橋が架けられても、橋脚は平らな岩に置くだけのような工法でしたから、大水ですぐ流されてしまいました。そのたびに架け替えられました。大正中頃までには、本格的な木橋が建てられています。絵葉書にはT型フォード車が見えます（祇園が低園と誤植されていますね）。その後、たびたびの水害により橋面などが痛み、昭和初期には「最近では車馬の交通は途絶し、歩行者のみがようやく通行する状態で、夜間には負傷者さえ出るような状態…」となり、周辺の村々との交通が絶たれるまでになりました。



▲ T型フォード車が映る絵葉書

再建の助成を申請しても、県の政治状況が影響し、ようやく架け替えられたのが昭和8年でした。今の永久橋です。近代的なコンクリート造りです。高欄には唐金擬宝珠を取り付け、四隅には石灯籠を置くなど京都の五条橋を模した、神社の正面にふさわしい和風のものという思いからでした。4月29日の竣工式典には花火を打ち上げ、各戸は祝旗を掲げ喜んだと伝わります。両岸は低いうえに土手造りだったので、石積みの護岸に改修しました（水面近くの散歩道は後年）。これにより広がった宅地部分は低地なので埋め立てて家屋を建築。近隣には今でも地階を持つ家があります。この道が「ぎおん通り」です。出雲街道と交差し、多くの商店や料理店、芸者屋や演芸場、酒の醸造販売所などが集中する賑やかな地域となりました。宿場町としての風情が色濃く残り、人と物資が集中した往時に思いを馳せながら歩いてみませんか。